

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2024 年 1 月 29 日 回収率 15/17

事業所名:放課後等デイサービスPEACE サービス種類:(放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員1日10名に対し、機能訓練室31.78㎡、静養室10.67㎡、面談室19.40㎡、食堂兼多目的室31.05㎡と部屋のスペースは十分に確保している。	はい 15人	個室の部屋が2部屋になっている為、個別対応出来るよう間仕切り(パーティション)等を使用し工夫を行う。
	2 職員の適切な配置	人員配置では規定の職員を配置している。	はい13人 どちらともいえない1人 わからない1人	療育面に関して専門的な部分を強化する為、専門職員の募集を強化している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	部屋の状況では廊下には手すり等を設置している。日本家屋の為、玄関等に段差が生じている。	・古民家の改装なので、元々の間取りもあって難しい中、努力して下さっているのは伝える。 ・スロープが無いように思う。	必要に応じて安全面に考慮し、点検整備を行う。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃活動、換気、アロマを焚き、消毒活動等を受け入れ前と受け入れ後に実施し、空気清浄機に関しては24時間稼働している。	はい 15人	今後も現在の取り組みを継続して実施する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員会やMT、OJT等を行い、常に情報共有や意見交換等を行っている。また、一日の振り返りについては振り返り表を記載し、次の支援に活かす取り組みを行っている。		適時、PDCAサイクルを行い、職員が積極的に参画出来る環境を整備する。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現段階では実施していない。		今後は積極的に実施を検討する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	定期的にOJTを実施し、外部の研修会に参加している。		福祉分野だけでなく多職種とも関われる研修に参加を検討する。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	定期的に面談を実施し、お子様の状態や課題を分析し、職員と会議を実施している。その内容と相談支援専門員のサービス利用計画書をリンクし、個別支援計画書を作成し、支援を行っている。	はい 15人	ご本人、ご家族のニーズに沿った計画書を立案するよう取り組む。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	一日のスケジュールの中に個別活動と集団活動の療育を取り入れ、実施を行っている。個別支援計画書に関しても状況に応じて計画を組み立てている。	はい 15人	お子様の状況に応じた的確な課題設定が出来るように取り組む。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	アセスメント等情報を収集し、職員と情報共有を行い、支援に反映している。	はい 15人	支援を行う際は細やかな面まで配慮し、支援が出来るように具体的な内容等も計画し、明確に伝え取り組む。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画書に沿って支援を行っている。適時、会議や業務連絡の際に支援に関して適切か等話し合い、見直し訂正等を行っている。	はい 15人	日々、支援内容等が適正かを確認し、計画や支援を行うように心掛ける。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	担当職員が立案し、MT等で職員全体で支援を考えている。行事やイベントに関してはレクリエーションの担当を月ごとに分担し、全体で内容を検討している。障害特性を考えながら立案している。	はい14人 どちらともいえない1人	日本の四季を感じながら取り組める行事や活動を行い、その中でも学びを取り入れた内容をおこなって行く。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	プログラムの構成では曜日で偏らないように様々な療育を経験出来る体制を整えている。ニーズに基づき、利用が出来るように配慮している。		各ご家庭のご都合に合わせて、きめ細やかな支援が出来るように取り組む。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	1か月ごとに曜日で実施するプログラムを構築している。マンネリ化と偏りが出ないように構成している。お子様の課題に合わせて、プログラムの内容を適切なものに変更しながら実施している。		その都度、お子様のご様子を分析しながら柔軟性を持ち、必要に応じては予定を変更するように取り組む。変更した際は保護者様に内容を詳しく説明を行う。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	当日にMTを行い、プログラムの流れやお子様の状態(学校やご家庭でのご様子等)、個々の課題や目標等を各担当者が書類にて明記し、再確認を行っている。また、支援に関しては重要ポイントを共有している。		事前にビジネスチャット等を活用し、効率よく職員へ情報共有が出来るように改善していく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日の情報共有は口頭や業務連絡の振り返りシートにて個々で記入し、特記事項や課題等、引き継ぎを行っている。		今後も振り返りや気づき等は会議等で話し合い、反映して行きたい。
	10 日々の支援についての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	利用者に作成している連絡票(写真付き)や業務日誌、業務連絡表に記録し、必要に応じて支援の見直し、改善等を会議を行っている。		常に日々の支援について細かく記載し、どの職員が見ても理解が出来る内容で管理を行って行く。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングに踏まえ、保護者様とお話する機会等(6ヵ月面談、送迎時、相談連絡)で意見交換や情報共有を行い、同じ方向性等、再確認を行っている。適時、必要に応じては支援計画の見直しを行っている。		常に関係機関と情報共有し、積極的に連携を図る。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	担当者会議については積極的に参加し、情報共有を行っている。		児童発達支援管理責任者だけでなく、主に関わっている職員も参加出来るように調整を行う。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし		該当なし
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし		該当なし
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて、情報共有を行っている。		当施設から積極的に情報を伝達し、実際に学校や他施設のご様子を見学する機会を増やしていきたい。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	開所し、1年未満の為、機会がなかった。就労に向けての作業療育は実施している。(パチンコ解体、箱折り、農耕作業、手先のトレーニング等)		今後は機会があれば、利用者が実習に行かれているもしくは希望就労先の実習先の作業等を取り入れ、積極的に連携を図り、情報提供を行う。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて、情報収集を行っている。支援の質の向上も考え、専門の分野等は研修等に参加している。		新規事業であった為、業務によって時間が取れないときもあった。今後は業務の効率化を図り、職員が積極的に研修へ参加が出来る体制を整備する。
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現段階では交流する機会を設けていない。	・他の事業所との交流は、今の所ない はい3人 どちらともいえない2人 いいえ1人 わからない9人	他の事業所とも交流についての案があったので来年度から積極的に交流が出来る機会を企画していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	当事業所の行事等に招待する機会はなかったが地域の方々からのサポートや交流があった。また、地域の奉仕活動等も積極的に実施した。		地域の方々と交流を深める為の行事等を企画し実施出来るように努める。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	保護者様にも契約時に口頭や書面にて説明を行い、別途費用が発生する場合は事前に説明を行っている。	はい 15人	特にトラブルもなく、ご理解頂いている。今後も丁寧に説明等を行う。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	定期的な個別面談を行い、その際に計画書を提示し、説明を行っている。	はい 15人	時間が確保できない保護者様には送迎時等に説明をおこなっている。常に保護者様と気軽に話す機会を設け、適時、計画の見直しが出来るように努めたい。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	必要に応じて、専門分野に関しては専門の職員が対応し、丁寧にアドバイスを行っている。	・手話などについて、教えていただきました。 はい9人 どちらともいえない4人 わからない2人	今後は専門的な範囲を広げ、アドバイスや講習会を開催できるように各専門職員を配置出来るように働きかけていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡表や電話、送迎時保護者様やお子様に対して状況や課題等、常に情報共有している。	・とても丁寧に伝えてもらっているので、良くわかりうれしいです。 はい15人	今後も保護者様と連携を図り、お子様の状態を適時、共通理解できるように努める。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	積極的に相談等に応じている。(電話、ライン、面談等)相談内容によっては関係機関と連携を図り、助言等をおこなっている。	はい 15人	相談しやすい関係性を構築し、相談を受けた際は迅速に対応し、的確な助言等を行うように努める。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現段階では実施出来ていない。	・父母の会なし ・保護者の交流なし ・開催を計画中との説明がありました。 はい4人 どちらともいえない2人 いいえ3人 わからない6人	今後は状況に応じて検討していく。(親睦会、1年間の報告会等。)
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情窓口の担当職員を伝え、対応する体制を整えている。	・整備はされているが、クレームがない。いつもありがとうございます。 はい10人 どちらともいえない1人 わからない4人	苦情が発生した際は苦情対応マニュアルに基づき、迅速に対応し必要に応じて市にも報告するように努める。また、苦情については会議し、再発防止を徹底する。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	お子様の障害特性に合わせ、意思伝達ツール(絵カード、スケジュール、筆談等)を用いて配慮している。	はい 15人	障害特性に合わせた意思疎通・情報伝達方法に工夫し、スムーズに伝達できるように配慮する。また、その内容や取り組みに関しては他の関係機関とも情報提供、収集し、取り組む。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月Instagramや1ヵ月の療育スケジュール表、お知らせを作成し、配布、公表を行っている。1日のご様子等は写真付きの連絡票をお渡ししている。また、気象関係、緊急時対応、服薬変更関係のお知らせ等も配布している。	・毎月会報をいただける。 はい15人	今後も定期的にInstagram等の更新やお知らせ等を行い、活動内容等を発信していきたい。また、HPもより分かりやすい物へ変更する事を検討している。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報保護マニュアルに基づき、個人情報関係の書類は鍵付きの書庫にて厳重に保管している。職員の取り扱いに関しても適時、見直し周知している。PC関係は管理者のみの管理を行い、ロックをかけた状態で管理を行っている。関係機関に情報提供を依頼されて場合は保護者様に同意を得た上で提示している。	はい14人 どちらともいえない1人	継続して管理は厳重に行い、職員にも定期的に調査し、周知していくように努める。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルに関してはいつでも提示、閲覧できるようにしている。現在では保護者様より提示依頼された場合にのみ、提示し、説明を行っている。職員は各マニュアルについて会議等を行い、必要に応じては適時、修正を行っている。	・感染症が出た時、すぐに教えてくれます。 はい13人 どちらともいえない1人 わからない1人	書面だけでなく、PC等でも閲覧できるようなシステムの導入を検討している。また、必要に応じては積極的に説明等も実施するように取り組む。内容に関しては会議を行い、常に新しい情報等を基に更新していく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回はお子様も含めた避難訓練を実施している。また、定期的に療育にて防災についての学習を行っている。(人と未来防災センター等にも見学、体験も行っている。)	はい11人 どちらともいえない4人	定期的に訓練、体験等ができるようにスケジュールを計画していく。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止研修に参加し、職員全体に施設内研修等で周知している。		今後も外部研修、施設内研修を実施し、支援の振り返りを行い、常に風通しの良い環境を整える。また、職員は正確な虐待についての知識を身につけ、相談事に関しては職員間で話し合えるような関係性を構築していく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時に重要事項説明書等で十分に説明を行い、同意を得ている。また、個別支援計画書にも記載している。		今後、やむを得ず身体拘束した場合は身体拘束の定義等に基づき実施し、身体拘束報告書を作成する。また、保護者様にも正確な情報、内容を書面等を用いて説明を行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーのお子様に関しては保護者様からの情報をもとに対応している。また、看護師からも注意点や対応方法取り入れ職員間で周知を行っている。委託協力医療機関からの指示や連携は図れていない。		今後は提携医療機関と連携図り、指示に基づき対応する。また、今後も契約時にアレルギーに関して聞き取り調査を行う。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を作成、会議で情報共有をし、対策等を検討している。		些細な事でもヒヤリハットシート活用し、情報を共有し、事故を未然に防ぐように努める。